



ネイチャーなら

《わたしたちは大和の自然を愛します》

発行2014年7月1日

7月号・第150号

奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀 憲



Contents

- | | |
|------------------------|----|
| 多士済々 | ① |
| Monthly Repo.ならやま | ② |
| 里山の今 | ③④ |
| 6月・月例研修会報告 | ⑤ |
| まごころPJ報告
佐保台小田植え体験 | ⑥ |
| 自然教室チームだより | ⑦ |
| やさしい病害虫講座③ | ⑧ |
| 青垣春秋 | ⑨ |
| Galleryならやま | ⑩ |
| 俳句百景 | ⑪ |
| 癒しの散歩道
&ならやま茶論 | ⑫ |
| ならやまプロジェクト | ⑬ |
| 行事案内① | ⑭ |
| 行事案内②
&仲間入りしました | ⑮ |
| 行事案内③・奈良学クイ | ⑯ |
| 幹事会報告・ペン画に寄せて⑰
編集後記 | |

会報紙はカラーでホームページに掲載しています。

URL <http://www.naranature.com>



温顔篤実な人
阿部 和生さん

顧問 川井 秀夫

阿部さんの怒った顔を見たことはありません。



表情には心が映ると言われますが、この方の人徳の一つでしょうか。特に女性の方は阿部さんから頼みごとがあると、断り難いとよく聞かされます。

自然大学では私の三年後輩になりますが、本会立ち上げの際には、いち早く馳せ参じて頂きました。もう十幾年になりますか、同志として公私共にお付き合いさせて頂いております。

この会で最初に取り組んだのが、放置された生駒・西畑町の荒蕪の地でした。身の丈に余る笹の伐採、葛根の除去、竹林の間伐、山林の整備など。使命感に燃えて地元の地権者の信頼に応えるべく過酷な作業の日々を思い起こします。その中心的な牽引車として引っ張って呉れたのが温和な阿部さんでした。既に森林インストラクターの資格をお持ちで、私など間伐のマニュアルを教わったものです。玉切りした材木を軽々と運ぶ姿に力持ちの一面も印象に残ります。

その阿部さんが一度怒る姿を目の当たりにした事がありました。発展的に「棚田クラブ」としてD氏が代表として独立した頃、三重県の丸山千枚田へ一泊研修があり、懇親会のあと自室で酒を酌み交わすうち、D氏と激論（何が原因だったか忘れましたが）となり、頑なに自説を曲げず押し切った姿に、こんな気骨も有るんだなと吃驚したものです。

時は移り、当会の拠点は柳生の国有林に五年間の整備作業を了え、現在の平城山の里山に拠点が移って行きます。私も七年間の元締め立場も、安定期に入ったこの時期に世代交代をと考えておりましたが、どなたからも手が拳がらず「後任が決まらなければこの会も一代で解散だね」と。



初代、二代会長（熊野那智大社にて）

後日、候補の中の阿部さんから受諾の返事を頂きホッとしたものです。

何か殺し文句を投げかけた様で、心が痛みましたが、その後四年間、会の中心的役割を見事に果たして頂きました。

最近、私の俳句教室にも投句され、初心ながら素直な写生句を拝見しております。また、植物観察・歴史探訪の機会にも積極的に参加され、芸域を広げておられる姿を垣間見て、私の好きな言葉、『生涯現役』『生涯不悟』『生涯研鑽』を目指しておられる様にお見受けしております。

専門分野の森林作業の担い手として、いつまでも力になって頂きたいものです。最近やや体調を崩されて居られますが、早く酒杯を傾け談論の日を渴望しております。ご自愛下さい。



Monthly Repo ならやま

木村 裕

5月22日(木) 晴れ 56名+10名

県民だより「ならいいね」のテレビ取材に協力。ドブガイ繁殖を目的に近畿大学生によるシマヨシノボリの放流が行われた。

里山Gは、里山林内の枯れ木の処分。カシナガ被害による伐採丸太の利用として薪作りとその保管用の棚づくり。

エコファームGは、トマトの管理、ネギの移植、エンドウ・レタスの収穫。

景観Gは、ならやま会館前及びその斜面の除草。池のアオミドロ除去。山野草の移植。

5月29日(木) 晴れ 59名+8名

県の森林技術センターがカシナガ忌避トラップを設置。高い効果を期待する。ならやま池内の小島でカモの営巣を確認。

里山Gは、伐採木の薪と薪棚づくり。カシナガ侵入丸太の焼却処分。観察路沿いの枯れ木の処分。

エコファームGは、田植え準備(代掻き)、ゴーヤ・モロヘイヤ・オクラの植え付け。

景観Gは、水田周辺の除草と第5地区の斜面の除草。池の生物調査。

6月5日(木) 曇り 36名+4名

降雨確率が前日で40%、当日朝で60%と降雨が予想されたので参加メンバーが少ない。

里山Gは、薪づくりと被害木の焼却。

エコファームGは、早乙女さんたち?による田植えが終了。草の中からサトイモを救出。

景観Gは、BC周辺の除草。タラノキの挿し木、ユキヤナギの除草。

6月6日(金) 曇りのち雨 22名+23名

佐保台小学校5年生による田植え。前日の予定が一日遅れ、奈良テレビの取材あり。小雨の中を元気に田植えし、「もっとやりたかった！」

6月12日(木) 雨のち曇り 46名+6名

天気予報では曇りだが、朝からしとしと雨で会員の出足をくじいた。しかし活動開始時の9時には上がり作業が出来た。

森林組合が県から委託を受けて林内にカシナガ誘引トラップを設置。どの程度の効果か??

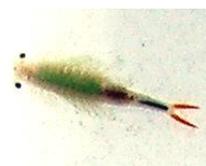


ペットボトルトラップカシナガ調査

里山Gは、恒例の薪作りと焼却作業。女性方が重い丸太を薪割り機に乗せて頑張ってくれた。

エコファームGは、サツマイモの除草と土寄せ。ウメを収穫し、女性方にウメジュースづくりを依頼。豊作を期待していたが、若樹での収穫は期待外れであった。

景観Gは、佐保自然の森で幅を利かしている春の野草たちに少しばかりお灸をすえた。池の生物調査ではホウネンエビが見つかった。どこから入ってきたのだろうか?



ヤグルマソウの処分と黄花コスモスの播種。

6月16日(月) 曇り 12名

ホテル鑑賞。発生量は昨年よりも多い。

6月19日(木) 晴れ 暑い 64名

里山Gは、しいたけのほだ木の天地返し、薪づくりとカシナガ被害木の焼却。ペットボトルトラップでカシナガ成虫がかなり捕獲された。

エコファームGは、エンドウ畑の後始末、ナス・ピーマンへお助け棒(支柱)を授与。第5地区のヒマワリへの餌支給と梅の剪定。

景観Gは、彩の森・ならやま池の周りの除草、日陰花壇の除草と棚づくり

ならやま花だより

山中笙子



ペタキン日記 26

羽尻 嵩

6月の小雨の日、雨に濡れた白、紫、ブルー、赤い縁取りのアジサイの花がとてもきれいで風情があります。

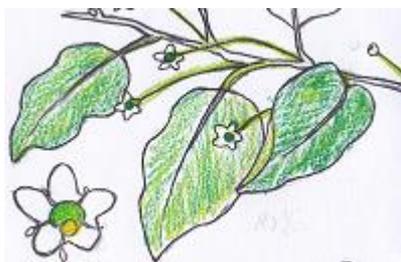
里山林を歩くと足元の小さな白い落花に目が回り見上げると、どうもソヨゴのようで低木の花をルーペで覗いてみた。

雌花*葉の腋から3~4cmの花柄に5mm程の花1個。花弁は4枚と5枚のがある。

真中の雌しべが盛り上がり、雄しべは退化。

雄花*花柄は短く1~2cm、先で枝分かかれし3~8個花を付ける。雄しべ4本ほど、雌しべは退化。

ソヨゴは直根がなく細い根が地表浅く広がり、高くなり過ぎると傾きやすく、風にも倒れやすい。それを逆手に根元からの強い萌芽力で次世代の幹を再生する。乾燥に強い葉の表皮は、ライターで焙ると黒い環ができパチツと弾ける。



ソヨゴ

雌雄異株

←雌木と雌花



雄木と雄花→

【草花】ギシギシ、

ミヤコグサ、クララ、ヒメジョオン、キツネアザミ、キキョウソウ、ナガミヒナゲシ、クスダマツメクサ、ツユクサ、ウラジロチチコグサ、コモチマンネングサ、ドクダミ、イヌビユ、ヨウシュヤマゴボウ、キランソウ。

【木の花】ネジキ、ソヨゴ、イヌツゲ、シモツケ、アジサイ、ムラサキシキブ、ノイバラ、クリ、ナンテン、フジウツギ、ビヨウヤナギ、クチナシ

【花壇】ホタルブクロ、カワラナデシコ、ノカンゾウ、ヘメロカリス、ムラサキツユクサ、トケイソウ、コスモス、ウマノスズクサ、キキョウ、ヒマワリ、ハンゲショウ、ハナショウブ、ギボウシ、グラジオラス、源平小菊

5月29日(木) ならやま池の水生物調査で外来種のアカミミガメの子供1匹が捕獲された。

ビッグニュース! 池の草むらにカルガモが卵6個を抱卵しているのを発見した。カルガモの雛がかえるのは最後の卵を排卵してから25日後なので、雛が見られるとすれば6月下旬になると思われますが・・・。



6月12日(木) 池のアオミドロが激減した。

タナゴ池で近大班の調査があり、貝に産み付けられたバラタナゴの卵の中に稚魚として生まれそうなのが何個かあったとのこと。

この日、ならやま池で初めて「豊年エビ」を捕獲した(3匹)。このエビは、初夏に水田などで見られるが、見かけた人は少ない。腹部の横に呼吸器を備えた10対以上の遊泳脚をもつ。



6月19日(木) タナゴ池では、水質浄化のためクワイを移植してきたが、1週間後行ってみるとほとんどがなくなっていた。アメリカザリガニによって根元から切断されてしまったと思われる。クワイもアシも、移植した場所の水深が浅くて、そこでしっかり根を張っていかないとうまく成長しないので、ザリガニに食べられてしまうようだ。

ならやまのセミ

菊川年明



パトロール班 Repo

「追悼」 小島武雄

ならやまで聞かれるセミの声はハルゼミから始まる。ハルゼミはマツゼミとも呼ばれ、棲息場所はマツのあるところに限られる。鳴き声の聞きなしは多様であるが、「ジーワ・ジーワ」と聞こえるとも。声は大きいが体長は翅端まで約35mmと小さい。ならやまでの出現時期は5月中・下旬頃で、以前はビオトープ池の西のマツの木の辺りやJR線路沿いの山中にもいたが今年はこの付近では鳴き声は聞かれなかった。マツが枯死したためであろう。たくさん鳴いていたのは第5地区周辺で、特に西北のマツがたくさん生えているところに多かった。

本格的な夏が到来すると真っ先に鳴き出すのはニイニイゼミ(写真)である。名前の「ニイニイ」は鳴き声からであるが、私の耳には「チー」と聞こえる。このセミも小さいが、ずんぐり型である。翅は樹皮のような色の迷彩模様で見つかりにくい。それにこのセミの抜け殻は丸く、例外なく泥まみれというのも面白い。

松尾芭蕉が山形の立石寺で詠んだ有名な俳句「閑かさや 岩にしみ入る 蟬の声」のセミは何ゼミかという論争がかつて小宮豊隆と斎藤茂吉との間にあり、小宮はニイニイゼミ、茂吉はアブラゼミを主張して双方譲らなかったが、この句の作られた時期がはっきりしているので、両種のセミの当地での出現時期を調べた結果、小宮説(ニイニイ)に軍配が上がったという。

クマゼミ、アブラゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、ツクツクボウシと続き、しんがりが一番小さいチッチゼミである。体長は翅端まで28mmで、ほとんど気づかれることなく、か細い「チッチッ」という声で10月下旬まで鳴いている。ミンミンゼミは少ない。



ならやまの草刈り機は鋭いノコギリ歯と、硬質ビニール紐のタイプがありますが、田中さんはより広範囲に切れる紐タイプを使っていました。これは、安全なのですが、刈った草のチップの跳ね返りがものすごく、ゴーグルも見えなくなるくらいになります。「これ何とかならんかな〜」と、いつも言っておられました。

パトロール班で、田中修さんは、ならやまの草刈り仲間でした。身体を汗と草屑まみれにして、ただ黙々と機械を回しておられたお姿を思い出します。声をかけると、いっぱい葉っぱのくっついた黒い防護眼鏡を手で持ち上げ、人なつこい顔で「これ、いいでしょ！ネットオークションで、買ったんですよ。」って、笑った顔が、まるで昨日の様です。

一緒にパトロールで登った山のあちらこちらから顔を覗かせている、あの小さな丸太の道しるべは、どれも田中さんが一つ一つ作り出したならやまのメモリーです。

今、山に入るみんなの役に立っていますよ。田中さん！！とってもとっても有り難うございました。そっと、ならやま、見ていて下さい。

「追悼川柳」

木村宥子

大鷹が友の気配を報せ啼く

104P 逝きし友の笑顔ある

大鷹と友を語らう 104P

そこここに友の整備の跡がある

友の手になる道標の前に立つ

旋回し旋回して 去った大鷹

6月 月例研修会報告

「明日香路に万葉歌碑を訪ねて」

6月の例会は梅雨入りしたばかりの9日(月)に橿原神宮前駅東口に集合し緑濃い明日香を訪ねた。前日の天気予報の降水確率が午前20%、午後60%がたたったのか参加者は少な目の18人であった。当日のお天気が心配されたが、薄曇りのいいお天気となった。今回の案内役は明日香を知りつくした前犬養万葉記念館に協力する会代表の水本洋氏にお願いした。



甘櫛の丘入口の山法師

バスで甘櫛の丘まで移動し丘に登る、登り口の白いヤマボウシが鮮やかに迎えてくれた。途中で故犬養孝先生揮毫の万葉歌碑があった。この歌碑は犬養先生の歌碑第1号で志貴皇子御製の歌である。水本先生の犬養節で全員で朗唱する。

「采女の袖吹き返す 明日香風 京を遠み いたづらに吹く」 卷1-51

甘櫛の丘からの展望は絶景で西には金剛・葛城の山々と二上山、目の前には大和三山が見える。二上山と言えば悲劇の皇子、大津皇子を抜きにしては語れない。天武天皇崩御の直後に謀反の疑いで処刑された皇子は優れた歌人であった。万葉集に残る相聞歌中の白眉「あしひきの山のしづくに 妹待つと吾たち濡れぬ 山のしづくに」の歌を全員で朗唱する。

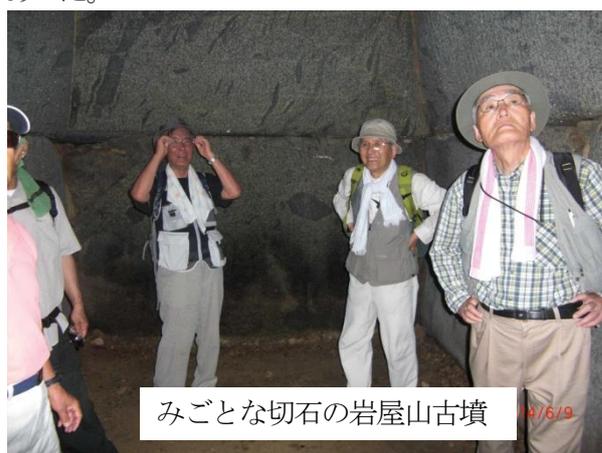


甘櫛の丘頂上で記念撮影 14/6/9

甘櫛の丘を下りて水落遺跡から飛鳥寺、入鹿の首塚と歩く。天気が良くなってきてかなり暑い、首塚の前で水本先生による乙巳の変、入鹿暗殺の書記の記録を聞く。暗殺のシーンがリアルで生々しい。伝明日香板葺宮跡に行く、ここは4層に宮跡が重なっているようで一番新しい宮(上部)は天武の明日香浄御原宮であるという。しばらく明日香村の町中を歩いて石舞台古墳に到着、ここで昼食を摂った。午後から天気は下り坂の予報であったが、どうやら持ちそうである。飛鳥川のほとりの玉藻の歌碑の前で朗唱する。亀石から川原寺、橘寺と歩き、聖徳太子御生誕地の石碑の前で先生から2首の歌の説明を受けた。世間の無常を厭う歌と、少々不真面目な歌であったが、不真面目な歌だけ記憶に残った。

「橘の寺の長屋に わがいねし ^{うないはなり} 童女放髪は 髪上げつらむか」 卷16-3822

童女放髪とは少女のおかつば頭のこと、髪上げは成人のしるし、大人になると髪上げをした。かつて橘寺の長屋で一緒に寝たかわいい娘はもう嫁にいったかなぐらいの意味だが、今も昔も男と女の世界は変わりません。天武・持統合葬陵から中尾山古墳、高松塚古墳と回る。このあたりの古墳は終末期の古墳で八角形である。中尾山古墳近くの紅の裳裾歌碑から正面を見渡せば、檜隈の地である。ここは渡来系豪族である ^{やまとのあやし} 東漢氏の根拠地で、蘇我軍の中核であった。



みごとな切石の岩屋山古墳 14/6/9

吉備姫王墓・猿石、欽明天皇陵、岩屋山古墳と回り飛鳥駅に到着した。水本先生の豊富な古代史の知識に感心しながら、明日香をフルに回った一日であった。水本先生ありがとうございました。飛鳥駅前食べたあすカルビーの入ったソフトクリームはおいしかった。

(杉本 登)

早苗持ちもっともっとと爆ぐら

佐保台元気っ子田植え実習体験

今年も「ならやま」の水田で、佐保台小5年生たちが稲作体験学習にチャレンジ。7年目の今年は、梅雨入りと同時に本格的に前線が活発で雨模様、当初の予定6月5日(木)が、降水確率60%のため6日(金)に順延。気象庁レーダー・ナウキャストや地方気象台の情報を頼りにしつつも、やきもきの連続。

午前10時に16名の元気っ子たちの声が、ならやまにこだま。藤田会長から歓迎と励ましの挨拶があり、サポーターの会員さんを紹介、子供たちからは、「よろしくお願ひします。」と力強い言葉がかえされた。

一人当たり約100株の植え付けにチャレンジ。初めは戸惑いがちであったが、次第に手つきや足取りも慣れ、手際よく田植えが進み、1時間足らずで完了。初めての体験について感想文を寄せてくれました。



どきどきわくわく・・・、期待感と不安の入り交じった複雑な心境であった子供たちが、体験することで多くのことを学んでくれたことが、異口同音に語られ綴られていました。

「毎日当たり前のように食べていたお米が、このように労力をかけて栽培されていることを、今回初めて体験でき本当に良かった。」「スタッフの方々・ゆうどきのTVスタッフの方々に感謝しています。」

7月中旬(10日)には生育状況の観察、秋には稲刈り、脱穀などの体験をすることになっています。約半年間での体験を通して、農業や日本の食料事情などについて興味関心を抱いてくれるものと確信しています。(鈴木末一)

まごころプロジェクトに 協力しました!!!

奈良市ボランティアセンターの紹介で東日本大震災後の気仙沼市のボランティア団体と鹿折小学校への支援を続けておられる「まごころプロジェクト」さんの要請に協力しました。

6月7日(土)子どもたち68名、サポートの大学生5人、スタッフ16人の方が参加されました。

午前中は、同プロジェクトが奈良市の遊休農地で育てた玉ねぎ、ジャガイモを子どもたちが収穫し、箱詰めにして送り出しました。

午後は自然学習で当会の木村副会長が玉ねぎ、ジャガイモの栽培から昆虫のことをクイズ形式で話されました。グループ毎の対抗戦で、子供たちは収穫の疲れもなんのその、わいわいグループ討議をして答えてくれ大いに盛り上がりました。



続いて自然工作でかえるストラップ作りに挑戦してもらいました。68名の子どもたちが一斉に取り組んだため大混乱となるも、当会ベテランのスタッフ6名で順調に製作してもらいました。

2つセットのかえるストラップも兄妹、友達にもあげたいと4つ作る子も出る大人気でした。

やっぱり準備を早くして、気仙沼市の子どもたちに一日も早く元の生活にカエルのように、また新しい目標に向かってジャンプしてもらえるように「かえるストラップ」を送りたかったなあ。



(塩本勝也)

自然教室チームだより

育英小学校 校庭の自然観察会
実施報告

6月4日(水)育英小学校の1・2年生の生活科の授業として、校庭の自然観察会を実施しました。

心配した雨に会うこともなく、ゆっくり観察会を楽しむことが出来ました。

この学校の子供たちは、1・2年生共に毎日朝の会で自分が見つけた自然のことを話し合っているそうです。それだけに植物や昆虫に興味をもつ子供も多く、知識も豊富だと感じました。

この日も1年生の教室に朝、羽化したたばかりのオオムラサキがエノキの枝にぶら下がっていました。

担任の先生から子供達に自然あそびの体験をさせたいとの要望を頂いていました。

そこで1年生にはアオキの葉に字を書くことや、カタバミで10円磨きの体験をし、タンポポの笛にも挑戦してもらいました。

2年生はカエデのプロペラを飛ばすと、外国の木フタバガキの種を模して作ったプロペラを飛ばして楽しみました。クロガネモチの葉巻笛にも挑戦し「鳴った!鳴った!」と大喜びの子もいました。

教室で草花の押し花を使って葉を作りました。世界に1つしかない子どもらしくかわいい葉が出来ました。子供達の笑顔が嬉しい1日でした。

(平岡 久美)



<7月自然観察会>

けいはんな記念公園
水景園の自然観察会

7月の自然観察会を下記の通り行います。起伏の少ない木陰もある池の周辺を観察しながら歩きます。

午後は国会図書館の見学を予定しています。

どなたでも参加していただけます。

多くの方の参加をお待ちしています。



1. 日 時 7月2日(水)
午前 自然観察会 昼食後移動し
午後 国会図書館見学(案内有り)
2. 集合時刻・場所
10時 バス停けいはんな記念公園前
3. 持ち物 弁当他必要と思われる物
60歳以上の方は、免許証等年齢の証明ができるもの(入園料・200円が免除されます。)
4. 交 通
 - ①奈良、京都方面から来られる方は、近鉄祝園駅、JR新祝園駅から、36番循環バス9時37分発 または 47番学研奈良登美ヶ丘駅行き9時26分発に乗車し、けいはんな記念公園前下車。
バス代 230円
 - ②大阪、生駒方面から来られる方は、近鉄学研奈良登美ヶ丘駅から 47番祝園駅行き9時37分発に乗車し、けいはんな記念公園前下車。
バス代 270円
 - ③車で来られる方は、駐車場について担当者にお尋ねください。

担当 吉村
平岡

やさしい病害虫講座 3

農薬とは？

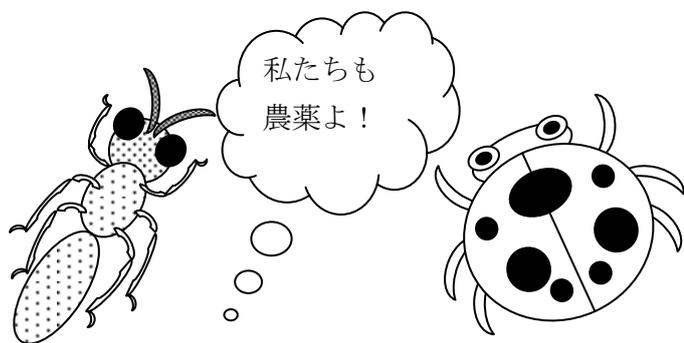
木村 裕

農薬の残留毒について考えてください。キャベツの葉に A 農薬が 0.01%、B 農薬が 200ppb、C 農薬が 30ppm、残っていたと仮定すると、どの農薬の残留量が多いですか？ 解答は末尾に。

農薬にはいろいろな物がありますが、機能別に整理してみると、

- ・ 殺虫剤：虫を防除する。
- ・ 殺菌剤：病原菌を抑える、除去する。
- ・ 殺鼠剤：ネズミを殺す。
- ・ 除草剤：草を枯らす。
- ・ 植物生長調整剤：ホルモン剤など

農薬の成り立ちからみると、化学農薬と生物農薬に別れます。後者は農薬とは言っていますが、農薬らしからぬ物です(寄生蜂、テントウムシなど)。



剤の形からみると、ビンに入っているのが乳剤またはフロアブル剤です。小さな袋に入っている粉は水和剤です。大袋に入っているのは粉剤または粒剤です。容器が直接噴霧器になっているのが原液散布剤です。少なくともこの程度の区別は覚えておいてください。

殺虫剤のほとんどは、ビン入りの乳剤またはフロアブル剤です。殺菌剤はほとんどが小袋入りの水和剤です。これらの薬剤は必ず 1000~2000 倍に水で薄めて散布します。10 リットルの水に 10~5cc (またはグラム) 溶かします。最近は 4000 倍くらいに薄める薬剤もあります。また、水和剤を使用する場合、キャベツやネギなど水をはじく作物に散布する場合は、薬剤の付着

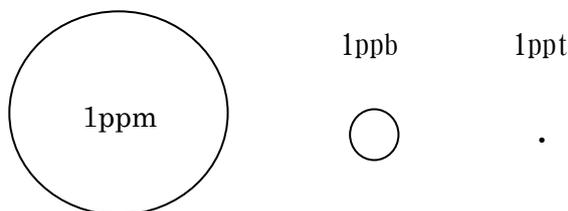
をよくするために展着剤をほんの数滴混ぜます。

原液散布剤は、家庭園芸愛好家用の薬剤で、プランターや鉢栽培の野菜や花を対象とし、畑での使用はちょっと無理でしょう。薬剤を溶かす必要もなく何時でも散布できるのがメリットです。

家庭園芸をされておられる方なら、オルトラン粒剤はよくご存知でしょう。畑の中にすきこんでおけば長期間 (一ヶ月程度) 虫がつくのを防止します。しかし農協に行けばこれよりももっと効果の高い別の粒剤があります。ナメクジ退治用の薬剤も粒剤です。成分のメタアルデヒドが誘引剤として働き、食べると中毒してころっと亡くなってくれます。

ならやまで伐採したカシナガ被害木の株元にいる虫を殺すのに使っているのが燻蒸剤です。ガスが虫の食入孔から木の中に浸透して、我が家の春を謳歌している虫たちを殺します。

最初にあげた質問は数字のトリックです。テレビや新聞などでよく取り上げる成分量の例題です。一般大衆は数字が大きいと沢山含まれているような錯覚に陥ります。一番の基本は後ろについている単位が重要です。単位が違くと 1000 倍くらいの差がでてきます。



1ppm は容量で 100 万分の 1 ということです。だから、1ppm=0.0001% です。ppb はその 1000 分の 1、ppt は ppb の 1000 の 1 です。すなわち 1ppm=1,000ppb=1,000,000ppt です。よって残留量は A 農薬：100ppm、B 農薬 0.2ppm、C 農薬 30ppm となり、B 農薬が非常に少ないことです。



隠れ古社寺 ひとり旅 ⑫

歴史文化クラブ
川井秀夫

みつがらす うたひめ

三碓・歌姫 添御県坐神社 (そうのみあがたにいます じんじゃ)

前号に引き続き、六御県 {むつのみあがた} の話。大和の六つの地域に一つの守護神を祀ると古記録に有るが、添 {奈良市・生駒市・生駒郡の地域名称} は曾布・曾富とも言われ添 {そう} は人口増加に伴い、添上・添下に分割統治され転化していったと言う。

この地に二つの守護神が鎮座すると聞き訪ねてみた。

もう一つの興味は、神武東征の中で最初の戦いとなった登美の豪族 長髓彦 {ながすねひこ} が祭神であることに関心を持ったからである。

三碓町 添御県坐神社

近鉄 富雄駅下車。少し蒸し暑い。富雄の呼称は、登美・鳥見の根源説が有力だが、神武東征の伝承から、鵜が天皇の弓に舞い降りた事から、昭和15年 鵜邑 {とびのむら} と呼称され、昭和53年に富雄と改称されたと言う。最近近大農学部が移設し、奈良で一番元気な町と言われている。



さて、富雄川沿いに、矢田丘陵を右に見て南へ20分。小高い自然林の中に石柱が建つ。緩い石段を上ると箒目が際立ち、西向きに

拝殿・本殿が並ぶ。柱間が五つある五間社で流造り、前面に千鳥破風が乗っているのが特徴。本殿を覆屋が蔽い朱や緑青のコントラストが、室町文化の貴族的な雰囲気を感じる。

祭神は三柱。須佐之男命、櫛稲田姫 {須佐之男のお妃}。それに武乳速命 {ながすねひこ}。宮司の話では、鎮座の起源は古墳時代に遡ること。

歌姫町 添御県坐神社

6月13日。平城宮跡にて、倉田氏のイネ科の観察会に出て、午後、朱雀門から貫通する歌姫街道を北進。狭い道路を塞ぐ様に楠の大樹が迎えて呉れる。



薄暗い参道、常夜灯に火が入り献燈が並ぶ。長屋王・菅原道真の歌碑があり藤原氏の謀略に遭った悲劇の宰相を偲ぶ。

祭神は富雄の神と同じ。本殿は一間社で小さく三柱の神々もさぞ窮屈な事と思うが、ここでは武乳速命が中央に鎮座し、この地の首長として如何に大きい存在であったかと。

今回、処々を歩いて見て、二座有ることは差ほど問題ではなく、広域には東西南北の郡境に古代人の信仰心の安らぎの聖地があって当然と確信したい。日本は神の国だから。

Gallery ならやま



油彩画 (辻本信一) 「秘湯孫六温泉」 墨彩画 (羽尻 嵩) 「清しい朝」
 陶芸 (小島武雄) 「歩み猫」(白土、絵の具、釉薬 (青磁))
 クラフト (鈴木末一) ストラップ「梟」(桜) ループタイ「梟」(桜)
 (奈良学クイズ賞品) ループタイ「蛙」(竹) ループタイ「観音」(焼き物)



清しい朝



▲ 梟



▲ 梟



▲ 観音



▲ 蛙



▲ 秘湯孫六温泉



▲ 歩み猫

豌豆の実り採る手の追いつかず

八木順一

里山豌豆畑。例年になく豊作。採り手の嬉しい悲鳴。味も美味。作物は適度なメタボが良い。

近江路の麦秋を染む落暉かな

らつき

八木順一

この季節。近江平野は正に自然の造形、黄金座敷の様。落日に染まる風景に息を飲む。作者の着眼に共感。

甘樫の歌碑にこぼるる椎の花

古川祐司

六月例研。万葉歌碑めぐり。切実な男女の相聞歌に思いが募る。季節の落花は万葉びとの挽歌だろうか。

夏草もまばらなりけり荒蕪の地

こうぶ

古川祐司

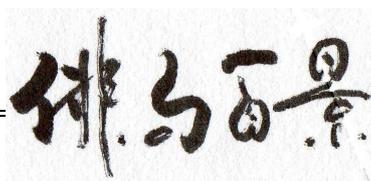
第五地区の荒地の整備が進む。夏草も此処ばかりは遠慮気味。蕎麦・向日葵・柑橘の若木。人為の力に期待したい。

裏作の黄金座敷の麦の秋

こがね

阿部和生

これも近江路だろうか。耕目に広がる麦の実りは風物詩。「黄金座敷」の擬態語が秀逸。日本の風土ならではの。



監修 川井秀夫

夏菜莢やふるさと遠く夕昏れる

阿部和生

グミは秋の季語。冠に「夏」を配す。望郷の一句。赤い実が熟れて、ふるさとの山河を駆けた日々を想う。

負けまいと燥ぎとほして田植の子

鈴木末一

佐保台小の子供たち。競争意識が高まる。早さだけでは駄目だぞ。縦横一線に、出来たかな。ほほえましい光景。

結実の今か今かと茄子の花

鈴木末一

今年の茄子栽培は実生から。花が咲く結実から収穫が待たれる。灌水・防虫・草刈・追肥とこれからが正念場。為せば成るか。

桑の実やスタンダードの赤と黒

川井秀夫

里山の名木。桑の大樹に実のたわわ。名作「赤と黒」にかけてみた。甘酸っぱい野生の味。観賞の時間が短い。

三尊の微笑睡蓮の昼下がり

えみ

川井秀夫

五月歴史例会。五條市を巡る。名利 栄山寺拝観。薬師堂の近く、睡蓮の輝き、ひとときの静寂。二句一章の仕立て。

癒しの散歩道(70)



恋した春の面影抱いて

谷川 萬太郎

いつの日か恋しかった麗らかな春の軌跡は戻らない
切なに心の灯りに膝まづき明日は夜明けの旅に出る
風の声が雲の様が移りゆく時の流れを伝えに来たから
俄かに変わる空の顔はどこか寂しげに小さな肩は震え
雨雲に足下を掬われた青空にただ空しさだけが漂う

いつからか春の寝息が遠くなり故郷に梅雨の便り届く
森や田畑は喜びに溢れ煙る雨に打たれ水浴びをする
花咲く野辺に注ぐ朝霧にやらずの雨が優しく声をかける
豊かな潤い携えて汚れ乾く喉を癒す恵みの雨を与え給う
青く澄んだ空と海迫りくる夏の陽が辿りつく日はもう近い

ならやま茶論(28)

「黒衣のグルメ」



竹本雅昭

カラスK:人々の昼食か。美味そうな弁当が一杯やな。おゝあの肉団子、あの玉子焼食べたいなあ。

カラスR:なんやて、俺達から一匹捕まえて見せしめにぶら下げるって。しゃあさかい止めとき言うたのに誘惑に負けて一つ失敬したのがいたな。

カラスS:しゃあけど我々を一匹とはおかしいな。昔、神宮球場での早慶戦のアナウンサーが「空にはカラスが一羽、二羽、三羽・・・」て放送したはったて聞いてるけど、あの呼び方が正しいんやろ。

カラスK:そんなことどうでもえゝがな、何と言うたかて我々には“申し訳ない”なんて心なんか持ってないんやから。

カラスR:昨年かな、杉の天辺におにぎり置いて伐採されて悔しがってたのがいたな。・・・あんなんどう思う。

カラスS:どう思うも何も、元々人々のを失敬したんやから何も言えんがな。精々ゴミの中からマヨのチューブ捨てきて、安全な里山で穴あけてペロペロするこっちな。

カラスK:そんな事で腹ふくれるか。どないかしてあの豆をつまみ食したいんやが、ぐるりとネットがあって危ないな。

カラスR:うんと学習してへりみたいに離着陸出来んと無理やな。

カラスS:足るを知るで食べ過ぎたら飛ばれんよ。

ならやまプロジェクト

活動予定日

7月	3 (木)	10 (木)	17 (木)
8月	7 (木)	21 (木)	28 (木)
9月	14 (木)	盆休み	

◆ 場 所：奈良市奈良阪町・佐紀町の県有林
[ならやま会館前道路(ならやま大通り)の南側に広がる里山林地]

◆ 集 合：現地ベースキャンプ地・午前9時

◆ 終了予定：午後3時

7月3日

<里山 Gr>

コナラ全木調査(残存数&ががが 被害状況の確認)

<工房 Gr>

茄子の枝整理と誘引と追肥(生育状況を見て)

里芋手入れ、大蒜収穫、玉葱跡の耕耘

里芋と茄子畑用水路整備など

<景観 Gr>

BC、彩の道草刈り、機械整備

佐保自然の森草引き、ドイツアヤメ園整備

池の整備

7月10日

<里山 Gr>

コナラ全木調査(残存数&ががが 被害状況の確認)

<工房 Gr>

南瓜などの枝やつるの整理と追肥

里芋と茄子畑用水路整備など

<景観 Gr>

彩の道草刈り

時計草整備、アヤメ刈込・施肥

水生生物調査、池の整備



アクセス

① JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩10分

② 近鉄奈良駅：バス13番乗り場

8:27発、高の原行き(平日)

③ 近鉄高の原駅：バス1番乗り場

8:38発JR奈良駅行き(平日)

②③とも「佐保台西口」又は「平城大橋」下車

徒歩7分

◆ 携行品など：弁当、飲み物、軍手(作業用具は現地で用意)



◆ 環境保護のため、お椀、箸、コップなどは各自ご持参下さい。

◆ 連絡先：木村 裕



7月17日

<里山 Gr>

コナラ全木調査(残存数&ががが 被害状況の確認)

<工房 Gr>

里芋追肥、ジャガイモ収穫(晴天であれば)

<景観 Gr>

ならやま会館前草刈り

アジサイ剪定、・施肥、棚作り

池の整備、池周辺の草刈り

7月24日

<里山 Gr>

観察路周辺整備(自然の森)

大径木伐採(里山林)

<工房 Gr>

堆肥づくり・水田土用干し

<景観 Gr>

BC付近草刈り、駐車場草刈り

花ナス移植、草引き

水生生物調査、池周辺の草刈り

7月31日

<里山 Gr>

観察路周辺整備(自然の森)

大径木伐採(里山林)

<工房 Gr>

堆肥づくり・水田湛水

<景観 Gr> 機械整備、

皇帝ダリア支え造り、草引き

水やり・池の整備





行事案内 part 1

7月・月例研修会ご案内

『矢田丘陵緑陰健康ウォーク』

夏到来。外に出て夏を体感しましょう。今回は矢田丘陵の緑陰コースを歩きます。

出発点の平群駅から休憩をとりながら、約1時間半で松尾寺に到着します。松尾寺は、養老2年(718)、天武天皇の皇子の舎人親王が日本書紀の完成と自らの42歳の厄除けの願をかけて修業した厄除霊場として建立されたと言われています。

松尾寺を出て少し行くと国見台展望台があり、ここからは、奈良盆地とそのむこうの若草山から三輪山に続く大和青垣国定公園の山並みが一望できます。ここからは、丘陵の尾根伝いに行きます。

2つの池、弘法の井戸⇒ 矢田峠⇒ 頂上展望台⇒ 小笹ノ辻⇒ 檜ノ木峠 ⇒ 北へ遊歩道を帝塚山大学の横まで行き、木陰で休憩して解散します。(帝塚山大学の前からは近鉄東生駒駅へのバスもありますが、歩いて1kmの距離です)

他のコースと違って、ずっと雑木林で木陰の平坦な整備された道が続き、そよ吹く風が心地よいです。

全行程 約14 km。

1. 実施日： 7月22日(火)
2. 集合： 近鉄平群駅 改札口前 9時10分
3. 解散： 帝塚山大学の手前の木陰 15時ごろ
4. 持参するもの： 昼食、飲み物(多目に)、雨具
5. 担当： 羽尻嵩
木村裕



歴文夏季特別企画 一泊研修 「高野山の歴史散策」のご案内

夏本番を迎えますがご機嫌いかがですか。歴文クラブ今年度の夏季特別企画は、涼しい高野山の宿坊を利用して一泊研修を行います。

時代が奈良から平安京へと移る歴史の舞台に、弘法大師空海の偉大な足跡が刻まれています。大師は讃岐佐伯氏の出身、15歳で上京、18歳で大学寮に入りますが19歳で私度僧となって山林修行に入ります。31歳になって東大寺で得度、遣唐使の一員に加わり、入唐するや忽ち華麗な文筆の才で宮廷の寵児となり、唐皇帝から「五筆和尚」の号を送られます。他方、密教の第七祖である恵果について、3か月で真言密教の秘密法の全てを伝授され真言密教の正嫡として即位します。

在唐2年で目的を果たした空海は早々に帰国します。日本では桓武天皇没後、平城天皇の葉子の乱ののち全権を掌握した嵯峨天皇の崇敬を受け、招来した密教の教義による教王護国の活動を始めます。弘仁7年、高野山を下賜され、同10年、山上に伽藍の建立に着手、高野山金剛峰寺と名付けます。これが真言密教の総本山となります。

今回は、山上の天空都市、真言宗の本山を訪ねて、空の様に大きく、海の様に果てしない、大巨人空海の足跡を訪ねます。解説と案内は、講師柴谷宗淑氏。聖地の二大拠点である壇上伽藍・奥ノ院を中心に巡ります。精進料理、早朝の勤行、高野三山の山麓歩きも楽しんで下さい。

- ・日時：7月14日(月) 15:30現地集合、15日(火) 午前中、現地解散
- ・電車等：難波13:34発「こうや7号」
極楽橋着14:53「ケーブル」に乗換
高野山着15:03
- ・場所：高野山宿坊 無量光院
- ・宿泊費：10000円程度の手定
- ・担当世話人：森、川井、古川
(まだ数名分の空きがありますので歴文事務局古川までご照会下さい)



行事案内 part 2

イベント・・・GGプロジェクト

『夏だ！休みだ！里山へ行こう①』の案内

〔東京海上日動協賛、奈良県・奈良市教育委員会後援〕

日時： 7月26日(土) 10時～15時〔雨天の場合は翌日の7月27日(日)に順延〕

内容： 午前は里山での昆虫観察、午後はバームクーヘン作りと水鉄砲作り等

募集人員： 小学生とその保護者50名

(小学2年生以下は保護者同伴を希望)

申込期間： 7月1日～18日

(準備の関係で、先着順とさせていただきます)

申し込み方法： 「奈良・人と自然の会」作成の案内

チラシ又はホームページ (<http://naranature.com/>)

の申込用紙に ①申込者名(保護者) ②住所

③電話番号(メールアドレスも)

④参加者氏名(子供はフリガナおよび学年)

を記入の上、メール又は郵送で送ってください。

受付時間： 9時30分～10時

参加費： 子供、保護者とも 一人500円

持物・服装： 弁当、飲み物、雨具、長袖シャツ
長ズボン、作業用手袋、帽子、運動靴、
(持っている人は補虫網、虫かご)

イベント場所： ならやまベースキャンプ

車… 駐車場があります

電車・JR平城山駅下車、東改札口から南徒歩10分
バス…近鉄高の原駅前の奈良交通バス①番乗り場

(JR奈良駅行き乗車「佐保台西口」下車、南へ徒歩約7分)



ハヤマへ行こう！

今年も、湘南の葉山ではなく、私たちの奈良の吐山(ハヤマ)へ行きましょう。

1. 日時：7月21日(月) 10:00～15:00

2. 場所：奈良県立野外活動センター
(奈良市都祁吐山町2040)

3. 出展：水鉄砲、ブンブンゴマ
各100人分

この日は海の日で祝日ですが、奈良県では「山の日・川の日」で森林体験山もり・てんこ森として多彩なイベントがハヤマで開催されます。

当会は水鉄砲とブンブンゴマづくりで大変人気を呼んでいます。特に水鉄砲は毎年作り方がバージョンアップしています。

みなさん、他の団体の出展状況も楽しみながら、ご家族連れでお出かけください。

また時間がありましたら、自然工作のお手伝いをして頂けると助かります。

(塩本勝也)

仲間入りしました

里山礼賛

河野 小弓

此度は、お仲間に入れて頂いて嬉しく思っています。やさしい光と風に包まれたこの里山の風景を初めて目にした時、地道な活動で、よくここまで…と感動しました。自然の力に癒されながら一人一人の小さな思いが大きな力となって原風景に再生されていくのでしょうか。学生時代、登山部において自然の力に心身が浄化されるのを感じながらよく歩きました。その思いがよみがえってきます。いつの頃からか花友達が周りに増え草花が大好きになりました。

“小さきは 小さきままに 花つけぬ
野辺の小花に いのちあふるる”

大好きな歌です。

花部門でご指導を頂きながら、お世話させて頂ければ幸いです。今後共、何卒よろしく願い致します



行事案内 part 3

8月・月例研修会のお知らせ

伊吹山高山植物観察・醒ヶ井散策

伊吹山山頂（標高1377m）の高山植物を観察する日帰りバスツアーです。



8月はシモツケソウ、クガイソウ、イブキフウロ、イブキジャコウソウ、キリンソウ、イブキトリ

カブト、サラシナショウマなど見られる予定です。

帰りに梅花藻を見られる醒ヶ井を散策して帰ります。夏の暑い時期ですが、伊吹山頂付近は、7～10℃気温差があるようです？

皆様の参加お待ちしております。雨の場合コース変更あります。



日時：8月4日（月）

（雨天決行、貸し切りバス使用）

集合：中小企業会館前（近鉄奈良駅東側）

午前8時00分

持ち物：弁当、飲み物、雨具、観察用品、軽登山用靴



コース：奈良—京奈和自動車道—名神高速道—関ヶ原 IC—伊吹山ドライブウェイ—伊吹山（昼食）—醒ヶ井—米原 IC—名神高速道—京奈和自動車道—奈良着 17時頃予定

会費：3,000円

参加定員：28名（収容人数の関係もあり、先着順とします、参加予約をメールかFAXで富井までお願いします。

締切日 7月24日（木）まで

担当世話人：鈴木・富井・青木です。



奈良学クイズ

【問1】 次の写真の本殿正面の柱には、葵の紋が



飾られています。また、左の写真の伏鉢は国宝に指定されています。

神社名をお答えください。



【問2】 次の写真は、往時の城の復元図です。



城の名称をお答えください。

◆応募方法◆

①メール又は FAX

②締切日

7月3日

多数の方のご応募をお待ちしています。

6月号正解：奈良女子大学記念館、南都銀行本店

平成26年・6月度幹事会報告

◆日時：平成26年6月3日(火)
17:00~20:00

◆場所：奈良市中部公民館

◆出席者：幹事18名 顧問1名

◆案件：

- ①会員動向、会計報告 (会員は150名)
- ②月例研修会、自然教室、ならやま等の活動報告
- ③H26年度グループ別予算と執行について
- ④林野庁交付金採択決定と今後の進め方について
- ⑤GGプロジェクトの進捗状況について
- ⑥奈良県「森林体験山もり・てんこ森」について
- ⑦6/5 佐保台④5年生の稲作体験学習について
- ⑧6/26 春の収穫祭について
- ⑨ネイチャーなら7月号の編集について
- ⑩6~8月の行事予定の確認、その他

ペン画に寄せて 境 寛

東寺の五重塔 近鉄電車が京都に近づくと、西の車窓に五重塔が目飛び込んできます。これが国宝東寺の五重塔で、京都のシンボルとなっていて、高さ54.8メートルは木造の塔としては日本一の高さを誇っています。

東寺は、東寺真言宗の総本山で、「教王護国寺」とも呼ばれ、平安京鎮護のための官寺として建立が始められた後、嵯峨天皇より空海(弘法大師)に下賜され、真言密教の根本道場として栄えた。平成6年には「古都京都の文化財」として世界遺産に登録されています。



青春とは、その人が生きてきた歴史であり、年齢ではない。今何を思い、これから何をしようと思っているか、とも言えます。

会員の皆さんは、青春真っ只中の意気込みで、これからもお互いに「明るく・楽しく・元気に・そして無理をせずに」頑張りましょう!!!



会報誌『ネイチャーなら』が、今月号で記念すべき第150号となりました。

創刊以来、原稿の執筆や編集に携わっていただいた先達の皆様方のご尽力の賜であります。各種のボランティア団体の会報誌にも優るとも劣らないと思っています。創刊号から全てに目を通してみますと、会が呱呱の声を挙げて以来今日まで生々発展するとともに、活動分野の広がりを遂げつつあることを垣間見ることができます。

編集チームの坂東さんが、2年前のお正月を返上してデジタル化していただきました。「温故知新」、時には原点に立ち返りつつ、新しい明日に向かって進んでいくことも大切でありましょう。

会員の皆様方からご忌憚のないご意見を頂戴いたしまして、より良い誌面作りに努めていきたいと考えています。どうかよろしくお願ひします。

(里山人)

会報誌[ネイチャーなら]・第150号

発行：奈良・人と自然の会

会長 藤田 秀憲

<http://www.naranature.com>



◇ 8月号の印刷・発送予定について

日時：平成26年7月30日(水)am 9:00~

於：奈良市ボランティアセンター



◇ 編集チーム・代表 鈴木 未一

申し合わせ
事項

ならやま環境整備活動や野外行事は、前日午後7時前のNHK TV天気予報で降水確率が午前60%以上の場合は中止になります!!

※ 通常活動日【木曜日】が、雨天等により中止になった場合、翌日の【金曜日】を振替活動日とします。
種々ご都合もあるかと推察されますが、「ならやまプロジェクト」の推進のためにも よろしくお願ひします。